



PRO CHEF

ミニスライサー

取扱説明書

ミニスライサー

型式/SS250F



お客様用

- このたびは、プロシェフ ミニスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

も く じ

| | |
|------------------|----|
| ■安全上のご注意 | 1 |
| ■各部のなまえとその働き | 4 |
| ■刃物円盤（別売品）のご案内 | 5 |
| ■注意ラベルの貼付位置 | 5 |
| ■設置と運転前の確認 | 6 |
| ■ご使用方法 | 7 |
| ●運転の手順 | 8 |
| ●プロテクターについて | 9 |
| ■お手入れ | 10 |
| ●毎日のお手入れ | 11 |
| ■点検 | 12 |
| ●1年に1~2回の点検 | 12 |
| ●保管方法 | 12 |
| ■譲渡・廃棄 | 12 |
| ■故障の見分け方と処置方法 | 13 |
| ■仕様 | 14 |
| 保証書・アフターサービスについて | 巻末 |

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

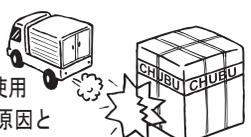
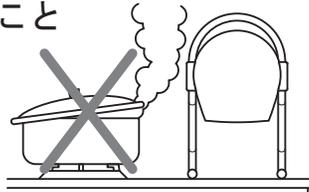
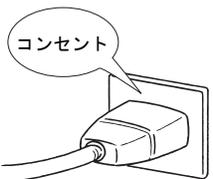
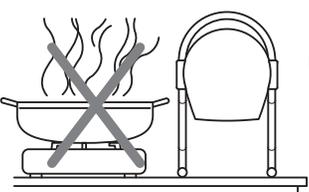
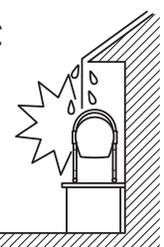
| | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。 |
|  | 注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、 *物的損害の発生が、想定される内容を示します。 |

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

| | |
|---|--|
|  | △は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。 |
|  | ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。 |
|  | ●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。 |

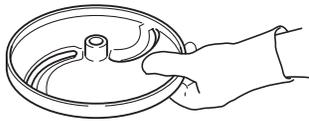
安全上のご注意

|  警告 | |
|--|--|
| <p>お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること</p> <p>もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。</p>  <p style="text-align: right;"> 損傷確認</p> | <p>湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと</p> <p>絶縁低下から漏電、感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;"> 湿気禁止</p> |
| <p>電源は専用コンセントを使用すること</p> <p>電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;"> 専用電源</p> | <p>熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと</p> <p>熱でプラスチックが溶けたりして危険です。</p>  <p style="text-align: right;"> 熱器具禁止</p> |
| <p>屋外で使用しないこと</p> <p>雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;"> 屋外禁止</p> | <p>この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと</p> <p>感電、ケガの原因になります。</p>  <p style="text-align: right;"> 禁止</p> |

警告

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



刃物円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



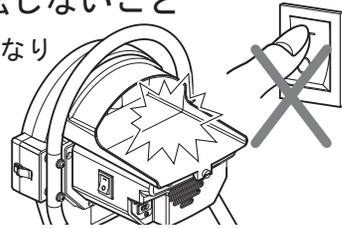
製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



投入口に押え棒・野菜が入っていないときは、運転しないこと

ケガの原因になります。



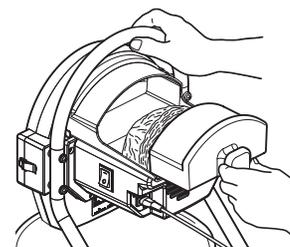
運転中にフタを開けたり、投入口や、野菜出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



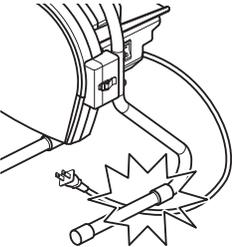
食材を切削するときは、押え棒を使用すること

無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因になります。



電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



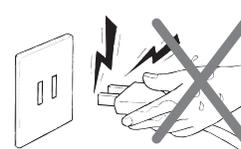
使用中に漏電遮断器が作動した場合には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理に漏電遮断器をON（入）にすると、感電や火災の原因になります。



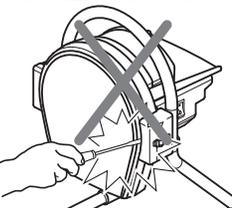
濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



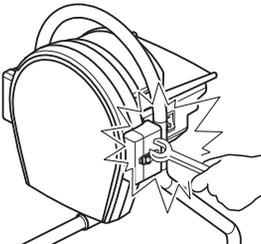
修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物円盤の取り付け、取り外し、手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



改造は絶対におこなわないこと

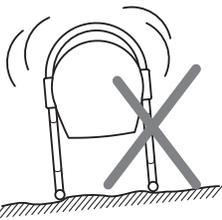
改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

運転時は必ずフタを閉めること

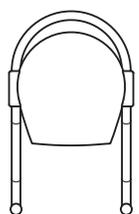
ケガの原因になります。



フタを閉める

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

投入口の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

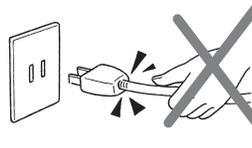
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

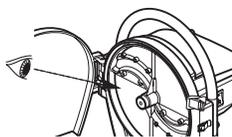
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

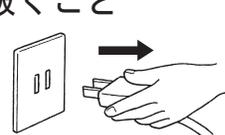
故障の原因になります。



異物確認

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

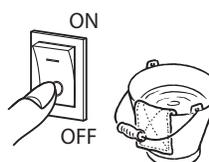
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

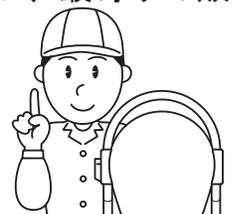
思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

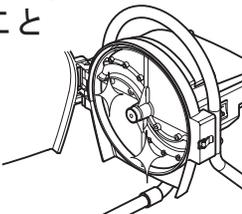
放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。



専門業者

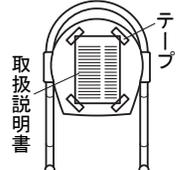
切削室内、刃物円盤、投入口ガイド、押え棒は必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になります。



掃除

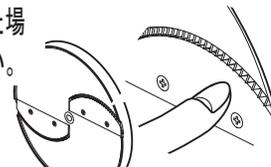
このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

千切円盤（オプション）用のクシ刃は、鋭利な薄い刃で作られていますので、運転前と運転後に、それぞれ必ず刃の枚数を確認してください。運転中に刃が欠けた場合は食材を捨ててください。

ケガの原因になります。



刃の確認

各部のなまえとその働き

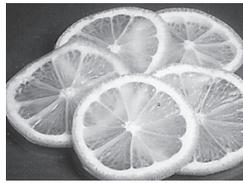
■使用目的

●本機はキャベツ・大根などの野菜をスライスする製品です。

●刃物円盤（別売品）を交換すれば、用途いろいろ。



薄切りスライス
キャベツ・タマネギ等



中厚切りスライス
レモン・トマト
キュウリ等



薄切りスライス
大根・キュウリ
ニンジン等

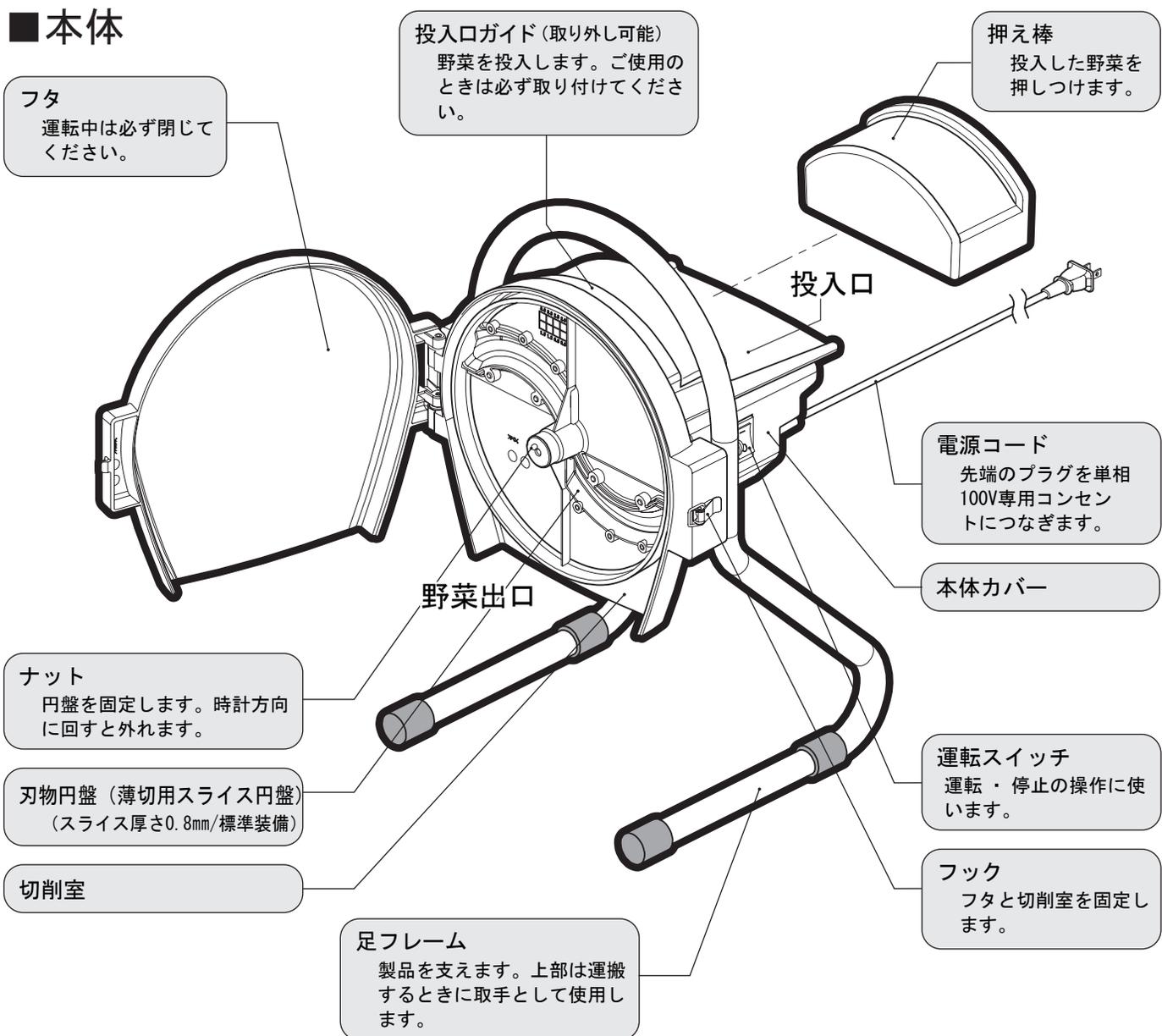


千切り
ニンジン・大根
キュウリ等



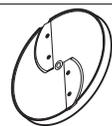
おろし
大根・ニンジン
のおろし

■本体



各部のなまえとその働き

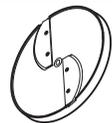
■刃物円盤（別売品）のご案内



■薄切用スライス円盤（2枚刃）
SS-0.5F（0.5mm厚）・SS-0.8F（0.8mm厚）
SS-1.2F（1.2mm厚）・SS-1.5F（1.5mm厚）



■薄切用スライス円盤（3枚刃）
SS-3B（0.8mm厚）



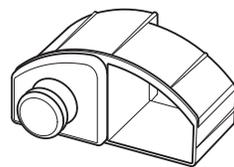
■中厚切用スライス円盤（2枚刃）
SS-2.0F（2.0mm厚）・SS-2.5F（2.5mm厚）
SS-3.0F（3.0mm厚）



■千切円盤
SS-C1F（1.2×3.0mm厚）・SS-C2F（1.5×3.0mm厚）
SS-C3F（2.0×4.0mm厚）



■おろし円盤 SS-D1B



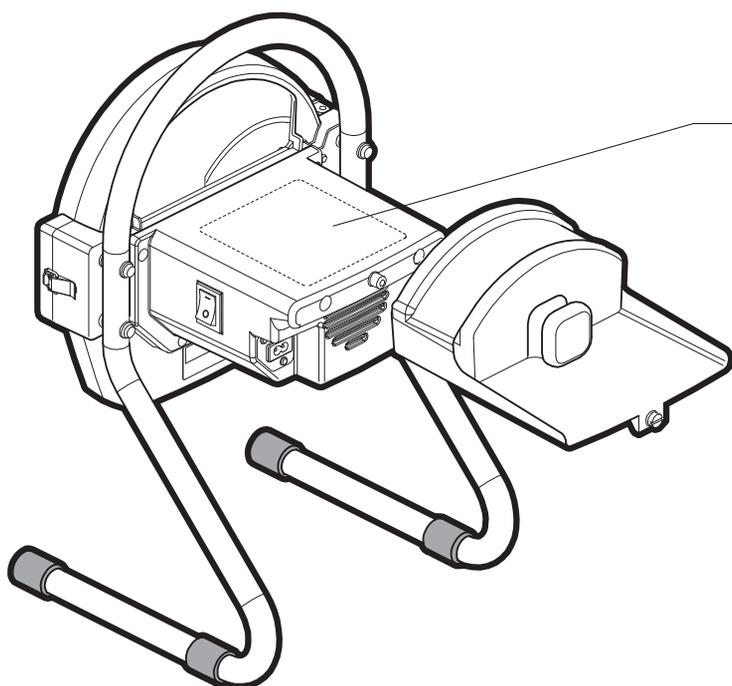
■おろし用アタッチメント
（押し棒付）
●おろし円盤を使用する時に必要です。
●投入口ガイドに取り付けます。

■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：注意ラベル（SS250F085）



（本体カバー上面に貼り付けてあります）

設置と運転前の確認

■ 設置

| ⚠ 警告 | |
|--|--|
| <p>電源は専用コンセントを使用すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。</p> | <p>湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。</p> |
| <p>屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。</p> | <p>熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと 熱でプラスチックが溶けたりして危険です。</p> |
| <p>この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと 感電、ケガの原因になります。</p> | |

| ⚠ 注意 | |
|--|---|
| <p>丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること 据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。</p> | <p>直射日光の当たるところで使用しないこと プラスチックが割れたりして危険です。</p> |

■ 運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 周囲温度10～40℃でお使いください。
使用温度範囲は周囲温度10～40℃です。この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内、刃物円盤、投入口ガイド、押え棒などに付着している恐れがありますので、掃除をしてください。
(P. 11 毎日のお手入れ参照)

■ その他

- 本体を運搬する時は、足フレームの上部を持ってください。
ご注意 切削室など、プラスチック部分を持つと、割れたりして危険です。

ご使用方法

警告

運転中にフタを開けたり、投入口や、野菜出口の中に手を入れないこと
ケガの原因になります。



禁止

投入口に押え棒・野菜が入っていないときは、運転しないこと
ケガの原因になります。



運転禁止

使用中に漏電遮断器が作動した場合には、最寄りの販売会社へ連絡すること
無理に漏電遮断器をON（入）にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

食材を切削するときは、押え棒を使用すること
無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因になります。



押え棒

刃物円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと
ケガの原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になります。



濡手禁止

注意

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にあることを確認すること
故障の原因になります。



異物確認

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

運転時は必ずフタを閉めること
ケガの原因になります。



フタを閉める

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

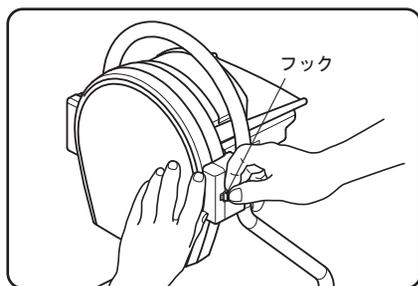
千切円盤（オプション）用のクシ刃は、鋭利な薄い刃で作られていますので、運転前と運転後に、それぞれ必ず刃の枚数を確認してください。運転中に刃が欠けた場合は食材を捨ててください。
ケガの原因になります。



刃の確認

ご使用方法

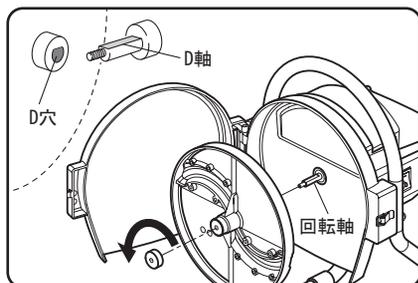
■ 運転の手順



1

フタを開ける。

- フックを外し、フタを開けてください。

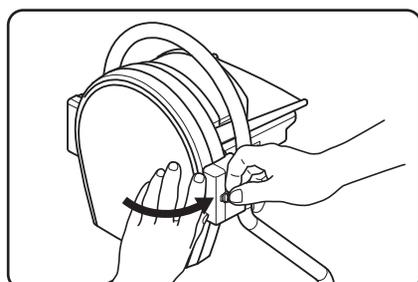


2

刃物円盤を取り付ける。

- 刃物円盤を回転軸にはめ込みます。
刃物円盤のD穴と回転軸のD軸を合わせてはめ込みます。
- ナットを反時計方向に回し、しっかりと締め付けてください。通常のネジの逆回転です。ナットに「しまる」「ゆるむ」の回転方向が刻印してあります。

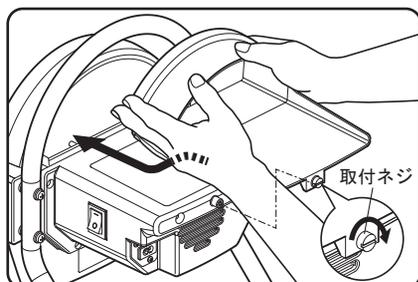
※刃物に触れないよう注意してください。



3

フタを閉める。

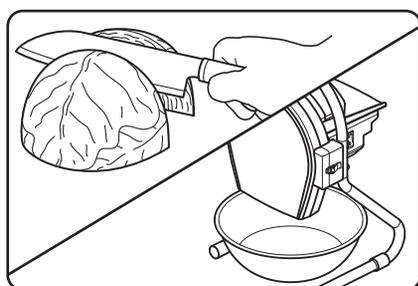
- フタを切削室に押し当て、フックを掛けてロックします。フタは必ず閉めてご使用ください。フタを開けたまま使用しますとケガの原因になります。



4

投入口ガイドを取り付ける。

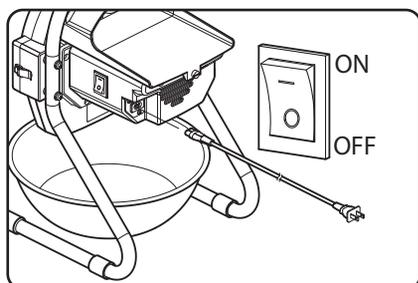
- 切削室の投入口に投入口ガイドを差し込み、ネジで固定します。正しく取り付けられていないと、上手く切削出来ない場合があります。



5

食材と、容器を準備する。

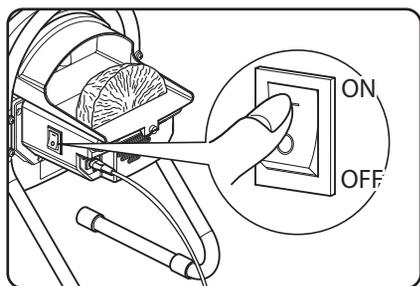
- スライスする野菜をあらかじめ投入口に入る大きさに切っておいてください。
- スライスされた野菜を受けるボールなどの容器を野菜出口の下に置いてください。



6

電源プラグを差し込む。

- 電源スイッチがOFF（切）になっていることを確認し、電源コードを本体に差し込んでください。次に電源プラグをコンセントに差し込んでください。

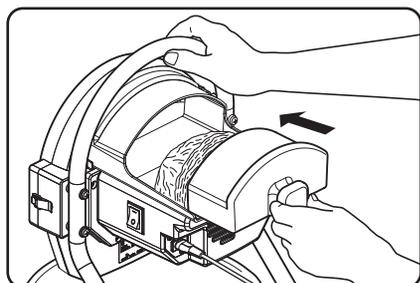


7 投入口に食材を入れ、電源スイッチをON（入）にする。

- 運転が開始します。

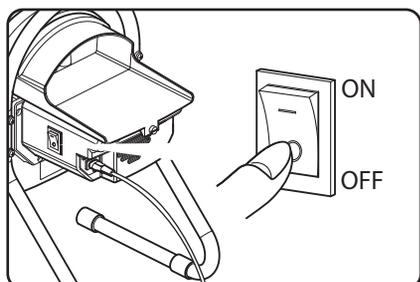
※投入口に押え棒・野菜が入っていないときは、運転しないでください。ケガの原因になります。

※運転中に投入口や野菜出口へ手や指を入れないでください。ケガの原因になります。



8 切削する。

- 投入口に入れた食材を「押え棒」で押し込んでください。
- 切削された食材が野菜出口より排出されますので用意した容器で受けてください。

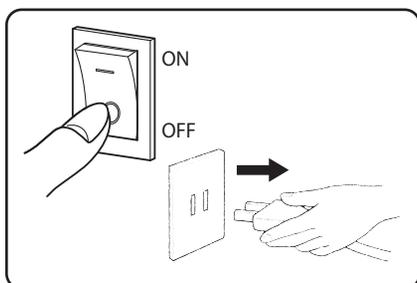


9 電源スイッチをOFF（切）にする。

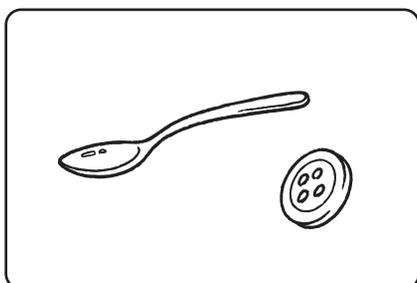
- 運転が停止します。
- 一日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■プロテクターについて

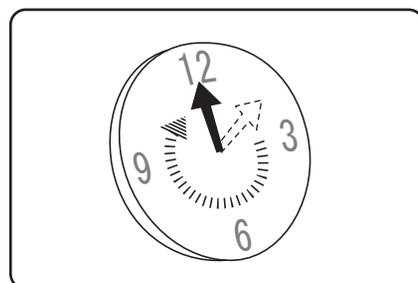
- モーターに負荷がかかり過ぎるとモーターの温度が上昇し、自動的にプロテクターが作動して製品を止める装置です。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



- 1 電源スイッチをOFF（切）にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



- 2 過負荷の原因を取り除いてください。食材・異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



- 3 1時間放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

お手入れ

警告

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



手袋着用

刃物円盤の取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこなない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

切削室内、刃物円盤、投入口ガイド、押え棒は必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



掃除

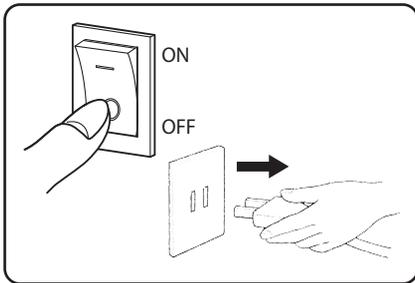
お願い

- お手入れで取り外した部品は、乾燥機・消毒保管庫などを使用しないでください。プラスチックが変形・破損することがあります。（刃物円盤・フタ・投入口ガイド・押え棒など）
※食器洗浄機を使用する場合は、必ず中性洗剤を使用してください。押え棒は変形することがありますので、食器洗浄機は使用しないでください。
- プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面を痛めます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしなど。
- 化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

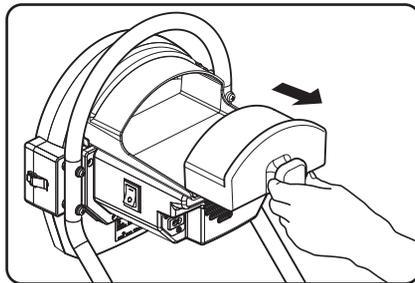
お手入れ

■毎日のお手入れ

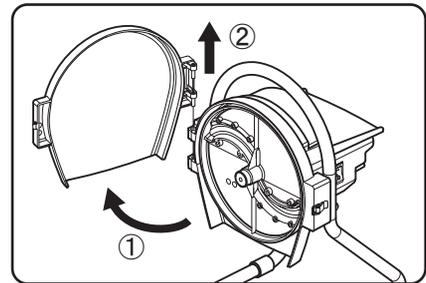
●ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が残っていると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になる恐れがあります。



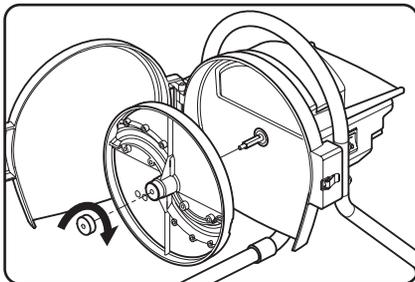
1 電源を切る
電源スイッチをOFF（切）にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



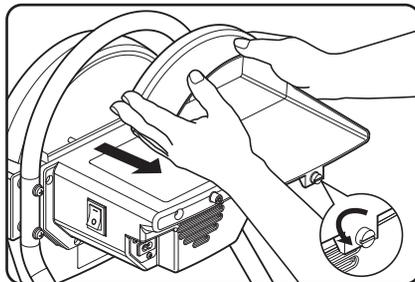
2 押え棒を取り外す



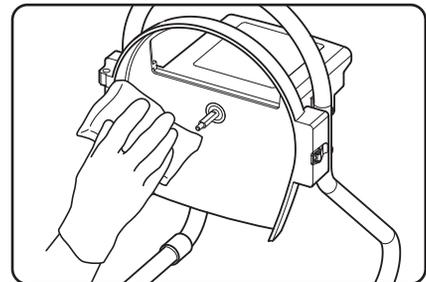
3 フタを取り外す
フタを開け、上に引き抜くとフタが外れます。



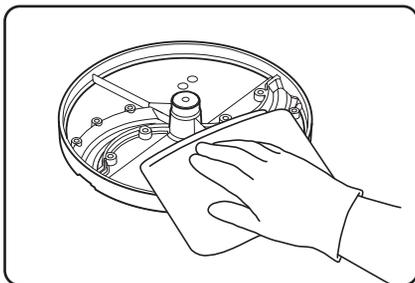
4 刃物円盤を取り外す
円盤中央のナットを時計方向に回すと外れます。



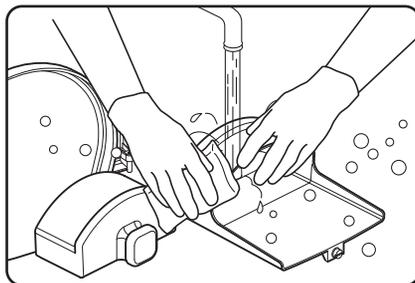
5 投入口ガイドを取り外す
本体と固定しているネジを矢印の方向に回し、取り外してください。



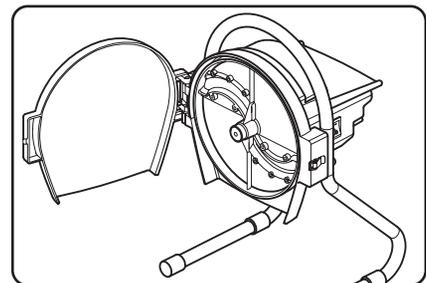
6 本体（切削室）の清掃
スポンジに含ませた水で洗い流してください。



7 刃物円盤の洗浄
水で洗い流し、乾いた布で水気を拭いてください。刃物で手をきらないよう十分注意してください。



8 取り外した各パーツの掃除
取り外した残りの各パーツは、台所用洗剤とスポンジタワシで洗った後、よく水洗いして乾いた布で水分をよく拭き取ってください。



9 組み立てる
乾燥後、逆の手順で組み立ててください。

点検

■1年に1～2回の点検

警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

譲渡・廃棄

■譲渡

注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

- 故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも不具合が直らないときは、最寄りの販売会社へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。
- 新しい刃物など、部品のご注文につきましては、最寄りの販売会社へご連絡ください。

| 現象 | お調べいただきたいところ | 処置方法 |
|-----------|-------------------------|------------------------|
| 製品が動かない | ●電源プラグが抜け落ちていませんか？ | ●コンセントにしっかり差し込んでください。 |
| | ●電源スイッチがOFFになっていませんか？ | ●ONにしてください。 |
| | ●プロテクターが作動していませんか？ | ●プロテクターの項参照。(P.9 参照) |
| 異常音がする | ●刃物円盤がフタに当たっていませんか？ | ●刃物円盤を確実にセットしてください。 |
| 食材の切れ味が悪い | ●刃物が摩耗していませんか？ | ●刃物を交換してください。 |
| | ●切削室の中に食材が詰まっていますか？ | ●食材を取り除いてください。 |
| | ●食材が大きいため、投入口に挟まっていますか？ | ●投入口に入る大きさに食材を切ってください。 |

仕様

仕様

| | |
|--------|--|
| 品名 | ミニスライサー |
| 型式 | SS250F |
| 電源 | 単相100V 50/60Hz |
| 定格消費電力 | 55/65W |
| 定格時間 | 連続 |
| 質量 | 6kg |
| 外形寸法 | 幅316mm×奥行297mm×高さ515mm |
| 処理能力 | 0.7/0.9kg/分 (キャベツ0.8mm厚 50/60Hz) |
| 付属品 | ①取扱説明書…1部 ②押え棒…1個 ③電源コード…1個 |
| 別売品 | <ul style="list-style-type: none"> ■薄切用スライス円盤 (2枚刃) SS-0.5F (0.5mm厚) ・ SS-0.8F (0.8mm厚) SS-1.2F (1.2mm厚) ・ SS-1.5F (1.5mm厚) ■薄切用スライス円盤 (3枚刃) SS-3B (0.8mm厚) ■中厚切用スライス円盤 (2枚刃) SS-2.0F (2.0mm厚) ・ SS-2.5F (2.5mm厚) SS-3.0F (3.0mm厚) ■千切円盤 SS-C1F (1.2×3.0mm厚) ・ SS-C2F (1.5×3.0mm厚) SS-C3F (2.0×4.0mm厚) ■おろし円盤 SS-D1B ■おろし用アタッチメント (押し棒付) |

保証書

| | |
|--------|---------|
| 品名 | ミニスライサー |
| 型式 | SS250F |
| お買上日 | 年 月 日 |
| 保証期間 | 1 年 |
| お客様の住所 | |
| お名前 | |
| 販売店名住所 | |

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - 誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - 落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - 消耗部品の交換。・保証書のないもの。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944

東京／TEL 03 (5833) 9968 大阪／TEL 06 (6788) 2251

中部／TEL 0594 (32) 1130 福岡／TEL 092 (474) 1312